

(3) 車庫・倉庫等

ア 施設概要

豪雪地帯である本市の除排雪作業を円滑に進めるため、市内各地区に除雪機械の格納スペース及び業務員、除雪オペレータの待機所として「湯沢市克雪センター」など除雪車格納庫9施設を設置しています。また、観光イベント資材用倉庫として「寺沢倉庫」を設置しています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
庫1	湯沢市克雪センター	山田字福島尻99	山田	建設課
庫2	稲川克雪管理センター	三梨町字宮田屋布前17	三梨	稲川総合支所
庫3	除雪車格納庫	表町二丁目	湯沢	建設課
庫4	稲川除雪機車庫	川連町字上平城124	川連	
庫5	大谷除雪機械車庫	稲庭町字大谷23-12	稲庭	
庫6	寺沢除雪車車庫	寺沢字中川原	横堀	
庫7	雄勝除雪センター	寺沢字中川原1-19	横堀	
庫8	皆瀬除雪機格納庫	皆瀬字林3	皆瀬	
庫9	皆瀬除雪車車庫	皆瀬字沢梨台35-1	皆瀬	
庫10	寺沢倉庫	寺沢字中川原1-19	横堀	雄勝総合支所

イ 現状と課題

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
庫1	湯沢市克雪センター	S60	38	34	287	直営管理	518	—	—
庫2	稲川克雪管理センター	S47	50	46	450	指定管理	464 1,097	— 1,137	240
庫3	除雪車格納庫	H27	31	4	227	直営管理	72	—	—
庫4	稲川除雪機車庫	S61	31	32	685		226	—	—
庫5	大谷除雪機械車庫	S40	31	54	165		92	—	—
庫6	寺沢除雪車車庫	H7	31	23	554		8	—	—
庫7	雄勝除雪センター	H13	24	17	170		1,066	—	—
庫8	皆瀬除雪機格納庫	H13	31	17	429		220	—	—
庫9	皆瀬除雪車車庫	S53	31	40	500		738	—	—
庫10	寺沢倉庫	H6	24	24	136	その他	8	—	—

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

※運営形態が、直営管理・その他の施設の支出欄は、人件費を除いたもの

庫1 湯沢市克雪センター

鉄骨コンクリート造2階建て、延床面積287m²。昭和60年に新耐震基準で建設し、建築から34年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は518千円となっています。

施設は、除雪機械の格納保管機能及び克雪活動推進のための地域コミュニティ施設機能を有し、除雪車の格納庫のほか、会議室、研修室2部屋で構成していますが、地域コミュニティ施設としての利用はありません。

庫2 稲川克雪管理センター

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積450㎡。昭和47年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、平成19年に室内整備工事を行っていますが、建築から46年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年始（1月1日から3日）と日曜日・祝日を除く毎日、7時30分から21時までで、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は1,097千円で、指定管理料460千円のほか施設利用料447千円など合計1,137千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物保険料で464千円を支出しています。

施設は、除雪機械の格納保管庫機能、地域コミュニティ施設機能と子育て支援機能としての保育室兼集会室（2階）、農産物加工機能としての野菜加工室と野菜調理室で構成しています。保育室兼集会室は、年に数回程度地域住民の会合等で使用されるほか、放課後児童クラブ「いなかわっこ宮田教室」が（登録者数44人）使用しています（稼働率46%）。また、野菜加工室と野菜調理室は主に地域の農産物加工団体が使用しています（稼働率18%）。

庫3 除雪車格納庫

鉄骨造平屋建て、延床面積227㎡。平成27年に新耐震基準で建設し、建築から4年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は72千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫4 稲川除雪機車庫

鉄骨造2階建て、延床面積685㎡。昭和61年に新耐震基準で建設し、建築から32年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は226千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペース及び作業員、除雪オペレータの待機所として使用しています。

庫5 大谷除雪機械車庫

鉄骨造平屋建て、延床面積165㎡。昭和40年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から54年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は92千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫6 寺沢除雪車車庫

鉄骨造平屋建て、延床面積554㎡。平成7年に新耐震基準で建設し、建築から23年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は8千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫7 雄勝除雪センター

木造2階建て、延床面積170㎡。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から17年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は1,066千円で、業務員、除雪オペレータの待機所として使用しています。

庫8 皆瀬除雪機格納庫

鉄骨コンクリート造平屋建て、延床面積429㎡。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から17年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は220千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫9 皆瀬除雪車庫

鉄骨コンクリート造平屋建て、延床面積500㎡。昭和53年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から40年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は738千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫10 寺沢倉庫

軽量鉄骨造平屋建て、延床面積136㎡。平成6年に新耐震基準で建設し、建築から24年経過しています。施設管理は市で、鍵の管理は民間団体で行い、維持管理費は8千円で、民間団体が使用するイベント資材用倉庫として使用され、小町まつりや大花火大会等の行事発生時にのみ開錠して使用しています。

【現状と課題のまとめ】

雪国である湯沢市の市民生活や経済活動を円滑にするための除雪機能の維持には欠かせない施設であり、適切な管理運営が必要です。

各種倉庫については、市の備品や文書の保管状況を精査し、不要備品等の処分や文書の保存期間の確認を行い、分散している倉庫機能の再編が必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。（分析・評価結果は資料編を参照）。

【基本的な考え方】

- 除雪車を格納する施設は、市民生活、経済活動を円滑に維持するための必要不可欠な施設であることから、必要な修繕を行い継続使用します。老朽化が著しい施設は、適正な規模での建替を検討します。管理運営は、現行どおり市の直営管理で行います。
- 倉庫等は、保管する備品や文書等の状況を精査し、市全体の総量を見極めたうえで、施設の必要性について検証します。市が使用する見込みの無い施設は、民間への貸付・譲渡を検討し、民間活用の見込みがない場合は、解体します。

【個別施設ごとの対応方針】

庫1 湯沢市克雪センター

庫3 除雪車格納庫

庫4 稲川除雪機庫

庫6 寺沢除雪車庫

庫7 雄勝除雪センター

庫8 皆瀬除雪機格納庫

- 耐震基準を満たしていることから、必要な修繕を行い継続使用します。

湯沢市克雪センターの地域住民のコミュニティ施設機能については、現在使用しておらず、今後も使用する見込みが無いことから廃止します。

庫2 稲川克雪管理センター

- 耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、克雪管理センター機能として適正

な規模での建替を検討します。

地域コミュニティ施設機能と農産物の処理・加工機能については、周辺の公共施設への移転・複合化を検討します。

子育て支援機能（放課後児童クラブ いなかわっこ宮田教室）は、子どもたちの安全性・利便性等の観点から、令和4年度の稲川統合小学校の設置にあわせて、稲川地域内の児童クラブ機能（放課後児童クラブいなかわっこ大館教室及び放課後児童クラブいなかわっこ宮田教室）を集約し、稲川統合小学校の隣接地に移転・新築します。

庫5 大谷除雪機械車庫

庫9 皆瀬除雪車車庫

○ 耐震基準を満たしておらず、老朽化が進んでいることから、適正な規模での建替を検討します。

庫10 寺沢倉庫

○ 平成6年に新耐震基準で建設した建物であるものの、市としての利用実態がなく、民間団体がイベント資材用倉庫として使用していることから、民間団体への譲渡を進めます。譲渡の見込みが無い場合は、移転について協議したうえで、廃止・解体します。

【年度別スケジュール】

施設名	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 ~ 2030年度 (R7) (R12)
湯沢市克雪センター 除雪車格納庫 稲川除雪機車庫 寺沢除雪車車庫 雄勝除雪センター 皆瀬除雪機格納庫	→					
				必要な修繕を行い継続使用		
稲川克雪管理センター 大谷除雪機械車庫 皆瀬除雪車車庫	→		-----→			
	建替の検討		検討結果に基づく対応			
湯沢市克雪センター	● コミュニティ機能の廃止					
稲川克雪管理センター	→		-----→			
	コミュニティ機能・農産物加工機能の移転・複合化の検討		検討結果に基づく対応			
寺沢倉庫	→		-----→			
	譲渡または移転協議		協議結果に基づき廃止			
			● 移転			

エ 概算事業費と効果額

単位:千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
庫1	湯沢市克雪センター	継続		0	0	0	0	0	0	518	518
庫2	稲川克雪管理センター	建替		0	0	0	0	0	0	464	464
庫3	除雪車格納庫	継続		0	0	0	0	0	0	72	72
庫4	稲川除雪機車庫	継続		0	0	0	0	0	0	226	226
庫5	大谷除雪機械車庫	建替		0	0	0	0	0	0	92	92
庫6	寺沢除雪車車庫	継続		0	0	0	0	0	0	8	8
庫7	雄勝除雪センター	継続		0	0	0	0	0	0	1,066	1,066
庫8	皆瀬除雪機格納庫	継続		0	0	0	0	0	0	220	220
庫9	皆瀬除雪車車庫	建替		0	0	0	0	0	0	738	738
庫10	寺沢倉庫	譲渡		0	0	0	0	0	0	8	0
概算事業費（合計）				0	0	① 0	0	0	② 0	③ 3,412	④ 3,404

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
0 千円	△ 8 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：25万円/m²、更新（建替）費用：40万円/m²（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。

※ 車庫・倉庫等は更新費用の比較は行わず、維持管理費のみとします。